

第14回(令和5年度)深谷市緑のカーテンコンテスト 団体部門 応募作品

CO₂削減・夏の節電対策として、緑のカーテンに取り組んでいただいた事業所等から、たくさんのご応募をいただきました。その取り組みの写真をご紹介させていただきます。(敬称略)

環境への取り組みについてご記入いただいた作品につきまして、コメントをご紹介させていただきます。



介護療養型老人保健施設 アルメリア

コメント：

よく耕してから種まきをしました。ゴーヤは、日当たりがよかったため、よく育ち、みんなでいただきました。

～企業PR～

利用者様に緑を楽しみながら、リハビリをして頂きました。

埼玉ガス株式会社

コメント：

ガスエアコンのため、電力量の削減には直接繋がりがありませんが、カーテンが日光を遮ることでエアコンの作動時間が短くなり、涼しく感じることができました。収穫したゴーヤの実は、社員で分けておいしくいただきました。

～企業PR～

私たちは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が石炭や石油と比べて少なく、環境にも人にも優しい都市ガスを皆様に供給することで、深谷市の環境負荷軽減のお役に立てればと考えています。



深谷市立豊里中学校



コメント：

円形の支柱を組み合わせ、植物を這わせました。

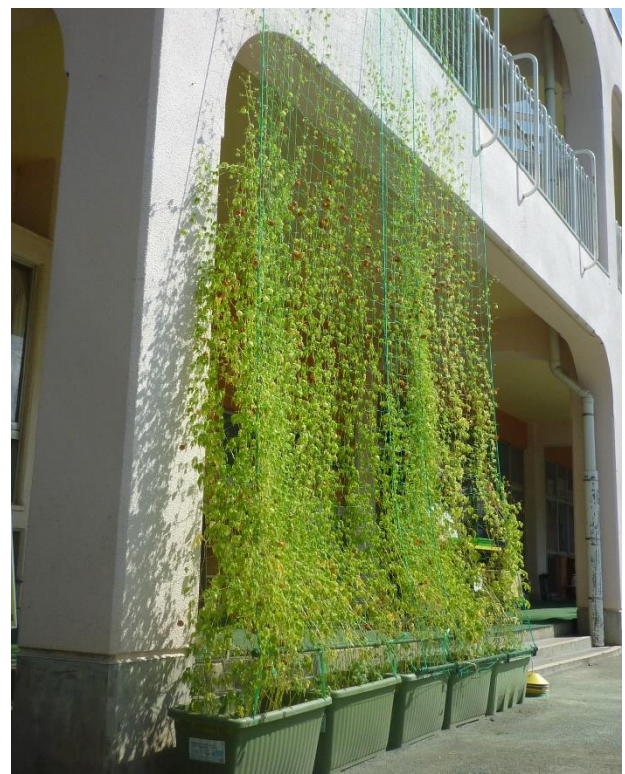
夏季休業中は、1，2年生を中心に当番を組み、多くの生徒が水くれ作業を行い育成しました。

深谷市立上柴西幼稚園

コメント：

園児がプランターに土を入れて種まきをしました。「大きくなーれ」と水やりをしていましたが、猛暑に耐えられず生育が伸び悩んでしまいました。ですが、もう一つの目的の環境教育の一環として、わずかな日陰を利用して園児が日向と日陰の違いを体感する時間を持ち、園児たちが緑のカーテン（自然）の持つ力や大切さを学ぶことができとても良い経験となりました。

種を採取して、祖父母へのプレゼントにしました。黒い種に白いハートの模様があるので、園児たちも大喜びでした。来年用にも保管しています。



深谷市 花園総合支所



コメント：

- ・花園公民館事業の夏休み子ども絵画教室の題材になるよう、果実が成り、緑のカーテンとして利用できる植物を選定しました。
- ・市民の方が育てた苗を利用し、市民協働により緑のカーテンづくりを行いました。

深谷市 水道庁舎



コメント：

5月上旬に庁舎の植込みに腐葉土と元肥を混ぜ込んで土づくりを行い、下旬にゴーヤの苗を植え付けました。その頃、昨年のゴーヤが地中から発芽したため一緒に育てたところ、7月には窓枠全面を覆いつくすほどの緑豊かなカーテンが出来ました。また、アサガオも順調に育ち、緑のカーテンに色どりを添えてくれました。最盛期には朝晩2回の水やり、ゴーヤの収穫等大変でしたが、職員で協力しながら取り組みました。

南側の窓を緑のカーテンで覆うことで、室内に入る直射日光が和らぎ、室内の温度上昇を抑えられました。また、ゴーヤの八つ手のような葉とハート形のアサガオの葉のコントラストが美しく、風に揺れる緑の葉が涼しげで良かったです。収穫したゴーヤは、来庁された方にお配りしました。



深谷市 明戸公民館

コメント：

- ・障がい者の方が快適に来館及び退館していただくため、今年度初めて障がい者専用駐車場にゴーヤの苗を設置しました。
- ・ゴーヤの発育を考慮し、水やりは日中の気温の高い時間でなく、朝・夕に水を与えました。

深谷市 南公民館

コメント：

自治会から推薦されたボランティアの皆さんで構成される「みなみガーデニング倶楽部」に、公民館の庭や駐車場の植栽を管理していただいています。活動の一環として、毎年、大会議室の東側窓際へアサガオを植えて緑のカーテンを設置し、会員と公民館職員が協力して手入れや水やりをしています。今年は酷暑でしたが、朝は適量・夕方たっぷりの水やり等工夫して立派なアサガオになりました。

緑のカーテンの設置は毎年恒例となっており、日当たりの良い大会議室の利用者さんから、直射日光が当たらないため好評をいただいています。



深谷市 川本公民館

コメント：

なるべく雨水が入るよう設置場所を調整し、雨水利用を心掛けました。水やりは涼しくなる早朝と夕方に行いました。

